

電波時計 取扱説明書

(デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

リズム株式会社 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12 https://www.rhythm.co.jp

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

ご使用の際は、巻末の「使用上のご注意」を必ずお読みください

電池は付属しておりません。単2形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

各部の名称と役割の図解。スヌーズ・ライトボタン、リセット、進む、戻る、時刻合わせ、強制受信、時刻/日付、12H/24H、モニター、アラームスイッチ、自動点灯スイッチ、電池ふた、電池の挿入方法、注意（電池の正负极、液漏れ防止）。

1 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手で時刻を合わせるときには、「手動での時刻合わせ」をお読みください。電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

【受信の流れと表示】の図解。受信開始、受信マーク点灯、受信完了の表示例と失敗時の表示例。

電池を入れた直後リセットボタンを押した直後は、2011年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

受信マークの変化(電波サーチ機能) 電波の状態により変化します。受信できない、受信しやすいのアイコン。

チェック 1〜2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

電波受信中のボタン操作について 電波の受信中に進むまたは戻るボタンを押すと、時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける、受信マークが消灯して、受信を中止します。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく 一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える/受信をやり直す 電波の受信しやすい窓ざで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面に電波の送信所に、なるべく向くようにして、リセットボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるが、手動で日時を合わせて使用してください。

手動での時刻合わせ...電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。年(西暦)、月、日、時刻(時・分)でのボタン操作

点滅している数値を進むまたは戻るで操作 押してすぐ離す 押し続ける 合わせてから時刻合わせを押すと数値 進む 1つ進む 早送り 戻す 1つ戻る 早戻し

操作例の図解。2020年12月25日 午前10:37に合わせる手順のスクリーンショット。

●約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、時刻合わせを終わります。

●アラームが鳴っているときやアラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても日時の設定には切り替わりません。

●電波受信機能がONの場合、手動で時刻合わせをしても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。

●標準電波を受信できないときの時間精度はクォーツ精度になります。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF(無効にして手動で時刻を合わせる) リセットボタンを約1秒間隔で3回押ししてください。

受信機能 ON(有効にして受信を開始する) 戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピ」ッと鳴って受信を開始します。

●操作のタイミングに合わせては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときは操作をやり直してください。

※電池を入れない状態で、放置すると受信機能はONになります。

強制受信について

場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても日時やアラーム時刻は継続して表示します。

アラーム状態(アラームが鳴っている、スヌーズ中)のときや日時またはアラーム時刻を設定しているとき、受信機能がOFFになっているときは強制受信ボタンを押しても受信を開始しません。

2 アラーム機能を使う

アラーム時刻を合わせる

アラームスイッチのON/OFF設定と時刻合わせの図解。

12時間表示のときは 午前/午後表示に注意

アラームスイッチをOFFにする 進む/戻るボタンを押してすぐ離す 「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。

進む/戻るボタンでアラーム時刻を合わせる 操作 押してすぐ離す 押し続ける 進む 1分進む 早送り 戻る 1分戻る 早戻し

約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

アラームスイッチのON/OFF設定

ON 設定時刻にアラームが鳴る アラームマーク 「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が表示されます。

OFF アラームを止める/鳴らさない アラームスイッチをONにすると、アラームマークとアラーム時刻を表示します。

オートストップ機能(自動鳴り止め) 鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴って止まります。

スヌーズ機能(止めてもまた鳴る) アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴りだします。

表示の切り替え ●電波の受信中や日時、アラーム時刻の設定中、アラーム状態では使えません。

表示位置の切り替え 時刻/日付を押しすると時刻と日付の表示位置が入れ替わります。

時刻表示形式の切り替え 12/24Hを押すと午前/午後付の12時間表示と24時間表示が切り替わります。

液晶表示の照明と角度調節 自動点灯 自動点灯スイッチをONにすると、明暗センサーと連動して、暗くなると液晶表示面を照らします。

角度調節 照明されているときは、正面やや上方より見てください。他の方向から見ると読み取れないことがあります。

電波を受信しているときは消灯します。 昼間や室内照明がされているときも、明暗センサーが暗いと判別したときは点灯します。

温度・湿度表示について 本製品は、一般的な家庭やオフィスの室内用です。直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

測定範囲を超えたときの表示 温度 HH.H : +50.0°Cを超える高温 LL.L : -9.9°C未満の低温

湿度 HH : 95%を超える多湿 LL : 20%未満 測定精度 ±2°C 測定範囲内 湿度精度 20%~95%RH 湿度が5%~50%のとき測定可能 湿度精度 10%RH 測定範囲内

静電気による誤作動について 静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・時計の廃棄

●お住まいの自治体の指定に従ってください。

●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

製品仕様表。使用温度範囲、液晶表示、時間精度、推奨電池、電池寿命、標準電波、受信周波数、受信回数、受信開始時刻、受信ON/OFFなどの項目を列挙。

※液晶はその特性上、0°C以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなったりすることがあります。

※液晶表示板は5年以上経過すると、コンラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※%RHは相対湿度を表しています。天気予報など一般的には%が用いられます。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 禁止(してはいけないこと)を示しています。

指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る。●電池に傷をつけない。●電池を分解しない。●電池をショートさせない。●電池を充電しない。●電池を加熱しない。●電池を火の中に入れてない。

- 梱包用のポリ袋をかぶらない。窒息する恐れがあります。
- 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない。●目や皮膚に付いたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の診察を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して濡れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 電池の正负极を正しく入れる。液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。
- 強い振動や衝撃を与えない。故障や破損の原因になります。
- 浴室やサウナ、湿室など、高温・高湿になる所では使用しない。さびや故障の原因になります。
- ぬれた手でさわらない。さびや故障の原因になります。
- 分解や改造をしない。けがや故障の原因になります。
- 液晶から漏れた液に素手でさわらない。液晶が破損して漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。
- 下記のような場所では使わない。●直射日光が当たる所。●暖房器具の風が当たる所。●温度が-10°C以下または+50°C以上の所。●火気のそば。●ほこりが多く発生する所。●強い磁気が発生させる機器のそば。●車中や船中、工事現場など、振動の激しい所。●ブル、温泉場などガスの発生する所。●調理場など多くの油を使用する所。●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。●時計が動いていても定期的に交換する。●長期使用しないときは電池を取り外す。●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。●幼児の手が届かない所に置く。●古い電池と新しい電池を混ぜない。●種類の異なる電池を混ぜない。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。(例: Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※[EVOLTA]は、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に表示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったときには、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、マンガンとアルカリ電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。マンガン乾電池を使用したときは、約7カ月で電池を交換してください。
- 電池は照明機能を使用しないと長持ちしますが、放置すると液漏れが発生しやすくなります。
- 電池の正负极を逆に入れない。

電波時計について

電波時計とは クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは 標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おわたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(https://jjy.nict.go.jp) ※アドレスは変更になる場合があります。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下、ビルの中、ビルの谷間など
- 朝方線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるしは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や雷雨などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用に当たっては、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスの受けられない場合は、当社総合サポートにてお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

修理可能期間について 無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。 Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 リズム総合サポート https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示している製品番号(型番)をご確認ください。例: BRZ○○○ ※お持ち帰り期間: 0120-557-005 受付時間: 9:00~17:00(土、日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してはなんら責任を負いかねますのでご了承ください。